

無人航空機（ドローン）を活用した物流実用化実証実験について

2024年1月15日
大豊産業株式会社
今治市
四国電力株式会社
株式会社伊予銀行

大豊産業株式会社（代表取締役社長 乾 和行、以下「大豊産業」）、今治市（市長 徳永 繁樹）、四国電力株式会社（取締役社長 社長執行役員 長井 啓介）、株式会社伊予銀行（取締役頭取 三好 賢治）は、環境省「令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」補助事業「過疎地域等における無人航空機（ドローン）を活用した物流実用化事業」を利用し、地域の物流課題解決に向け、以下のとおり実証実験を実施いたします。

1. 目的

- (1) 環境負担の少ないドローンを活用した地域の物流課題の解決
- (2) ドローン物流と公共交通機関（貨客混載）の定時性、速達性を組み合わせた新たな価値の創出
- (3) 生産者と消費者を繋ぐことによる地域活性化への取組み

2. 実施日

2024年1月22日（月）

※天候不良の場合、翌日1月23日（火）へ延期

3. 輸送スキーム

(1) 実証実験モデル I



- A. 株式会社蛭子丸の鮮魚を無人航空機（ドローン）で今治栈橋まで輸送
- B. 今治栈橋から、せとうちバス（瀬戸内運輸株式会社）に載せ、松山市を經由し松山空港へ
- C. 松山空港から日本航空 434 便で羽田空港まで空輸
- D. CBecloud 株式会社のサービス（ピックアップ）を活用し、羽田空港から恵比寿（東京）の飲食店「すし良月（あきら）」まで当日中に輸送いたします。

【参考】株式会社蛭子丸 漁師 藤本 純一氏

今治市出身 高校卒業と同時に漁師となり、2010年に鮮魚卸売会社「株式会社蛭子丸」を設立、自ら神経締めし、数々の有名店に直接出荷するスタイルを確立、フランスのレストランガイド「ゴ・エ・ミヨ 2021」日本版にてにおいて「テロワール賞」を受賞。



(2) 実証実験モデルII



今治市「マリーナパーク王浜」にある「浜の台所 潮里（株式会社しまなみ 代表取締役社長 村上秀人様）」のお弁当を、道の駅よしうみいきいき館へ無人航空機（ドローン）で輸送、大島の住民やサイクリスト、団体客等へのお弁当の提供、食材の輸送を想定した実証実験となります。

(3) 実証実験（レベル3）の方法

実証実験モデル I、IIともに、離陸後、海上を飛行する無人航空機（ドローン）を船（サイクルシップ）で追走、電波の影響、飛行距離、ペイロード等、レベル4での飛行を想定した検証を行う。

(4) 実証実験機

株式会社プロドローン PD6B-Type3

4. 今後の展望

実証実験の実施・検証を踏まえ、ドローンを活用した地域の物流課題の解決について検討を行います。

【問い合わせ先】

(株)伊予銀行 地域創生部 担当：五十嵐（イガラシ） TEL (080) 2854-6868

大豊産業(株) 営業部 松山支店：正岡（マサオ） TEL (089) 922-7173 または(080) 6396-6250